

令和5年第12回守山市教育委員会定例会

| | | |
|-----|---|----|
| 1 | 教育長業務報告 | 2 |
| 2 | 報告事項 令和5年守山市議会12月定例会教育委員会関係質疑質問の概要について | 3 |
| 3 | その他事項 | |
| (1) | 寄付採納一覧について | 22 |
| (2) | 教育委員会関係行事等について | 25 |
| (3) | 教育委員会の日程等について | 32 |

令和5年11・12月 業務報告

令和5年12月21日現在

| 月 | 日 | 曜 | 主 な 内 容 |
|----|----|---|---|
| 11 | 22 | 水 | 令和5年守山市議会12月定例会会議（開会） |
| 11 | 24 | 金 | 令和5年度守山市教育委員会委員の学校・園訪問（速野幼稚園、速野小学校） 第54回守山市青少年美術展覧会第2回展覧会委員会 |
| 11 | 27 | 月 | 令和6年度当初予算要求書提出式 |
| 11 | 29 | 水 | 令和5年度第4回校園長会 |
| 12 | 2 | 土 | 2023年度(令和5年度)人権文化の確立のための湖南地域管内中学校・高等学校・特別支援学校等管理職交流・研修会 第125回関西幼稚園・こども園連合会教育研究大会滋賀大会 国民スポーツ大会に向けてのトップアスリート交流事業MORIYAMAソフトボールフェスティバル～「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」666日前イベント～ |
| 12 | 3 | 日 | 第40回守山市スポーツ少年団クリスマス大会 |
| 12 | 4 | 月 | 令和5年度守山市職員表彰選考委員会 |
| 12 | 6 | 水 | 令和5年守山市議会12月定例会会議（再開） |
| 12 | 7 | 木 | 令和5年守山市議会12月定例会会議（再開） |
| 12 | 8 | 金 | 令和5年度守山市教育委員会委員の学校・園訪問（中洲こども園、中洲小学校、明富中学校） |
| 12 | 9 | 土 | 第5回守山市杯小学生バレーボール交流大会、第34回守山市美術作家協会展 |
| 12 | 11 | 月 | 令和5年守山市議会12月定例会会議：文教福祉常任委員会 |
| 12 | 14 | 木 | 令和5年守山市議会12月定例会会議（閉会）、令和5年守山市議会全員協議会 |
| 12 | 16 | 土 | 守山市立北部図書館本の湖開館記念 今村翔吾さん講演会～なぜ人は歴史を学ぶのか～ |
| 12 | 17 | 日 | 第47回速野学区民のつどい、第1回びわこ地球市民の森リレーマラソン、もりやまいち |
| 12 | 20 | 水 | 守山市スポーツ栄誉賞授与式 |
| 12 | 21 | 木 | 令和5年第12回守山市教育委員会定例会、令和5年第11回守山市教育委員会協議会 |

令和5年守山市議会12月定例会月会議教育委員会関係質疑の概要について

令和5年守山市議会12月定例会月会議 質疑・質問一覧表（教育委員会分）

| No. | | 議員名 | 質問事項 | 答弁者 | 担当課 |
|-----|-------|-------|---|------|--------|
| 1 | 個人-6 | 小牧 一美 | 1 新年度予算編成について (1)-④ 学校給食の無償化について | 市長 | 保健給食課 |
| 2 | 個人-6 | 小牧 一美 | 3 連続する企業誘致と教育環境への影響について (1)教育施設の不足の現状認識、今後の企業進出を見据えた教育環境への影響について | 市長 | 教育総務課 |
| 3 | 個人-6 | 小牧 一美 | 3 連続する企業誘致と教育環境への影響について (2)今後の人口増を見据えた、過大規模校解消に向けた学校分離の検討について | 市長 | 教育総務課 |
| 4 | 個人-6 | 小牧 一美 | 4 校則のあり方と見直しについて | 教育長 | 学校教育課 |
| 5 | 個人-10 | 藤原 浩美 | 2 小中学校のトイレに生理用品を常備することについて | 教育長 | 保健給食課 |
| 6 | 個人-12 | 田中 尚仁 | 伊勢遺跡史跡公園の活用について (1)史跡公園の活用の今後の展望について ①広報などによるPRや各種イベントなどの仕掛けについて ②各種団体との連携に関する今後の展望について ③教育での更なる活用の促進について | 教育部長 | 文化財保護課 |
| 7 | 個人-13 | 二上 勝友 | 1 本市におけるGIGAスクール構想の実現に向けて (1)クロームブックと高速通信ネットワークの整備状況と運用状況について | 教育部長 | 学校教育課 |
| 8 | 個人-13 | 二上 勝友 | 1 本市におけるGIGAスクール構想の実現に向けて (2)デジタル教科書およびその他のコンテンツの導入状況と運用状況について | 教育長 | 学校教育課 |
| 9 | 個人-13 | 二上 勝友 | 1 本市におけるGIGAスクール構想の実現に向けて (3)自学自習に有効なコンテンツの整備について | 教育長 | 学校教育課 |
| 10 | 個人-15 | 北野 裕也 | 2 フリースクールの拡大に関連する守山市の方針について (1)教育委員会等による事前の指導・研修を受けた人のスピード感を持った拡充について (2)フリースクール利用者への経済的支援体制構築の進捗について | 教育長 | 学校教育課 |
| 11 | 個人-15 | 北野 裕也 | 2 フリースクールの拡大に関連する守山市の方針について (3)フリースクール事業者を増やしていく・連携していく方針について | 市長 | 学校教育課 |
| 12 | 個人-15 | 北野 裕也 | 3 学校給食における有機米の導入について (1)主食である米、パン、麺が守山産かどうかについて (2)オーガニック栽培の地産地消品を増やしていくかについて | 教育長 | 保健給食課 |

答 弁 書

個人質問（一問一答） 質問者 小牧 一美 議員

答弁者 市長

1 新年度予算編成について

④学校給食費の無償化の実施について

質問概要

○学校給食の無償化を守山市においても実施するべきではないか

答弁内容

次に、「学校給食費の無償化の実施」について、お答えします。

憲法の規定する義務教育の無償については、最高裁判決において授業料不徴収のこととされており、学校給食の無償とは切り離して考えるべき問題と認識しております。

学校給食費無償化については、福祉施策と子育て支援施策の両面から議論が必要で、福祉施策としては、経済的な理由により学校給食費の支払いが困難なご家庭に対して、就学援助制度や生活保護制度により全額支援しているところです。

また、子育て支援施策として、学校給食にかかる食材費を全額公費で負担するとなれば、多額の財源を要することから、他の施策との優先順位を慎重に検討する必要があります。現時点において、学校給食費を無償化することは考えておりません。

なお、学校給食費無償化については、国においても検討課題とされていると承知しており、国の検討状況について注視してまいります。

答 弁 書

個人質問（一問一答） 質問者 小牧 一美 議員

答弁者 市長

3 連続する企業誘致と教育環境への影響について

質問概要

- ① 教育施設の現状認識と企業進出を見据えた教育環境への影響の見通し
-

答弁内容

それでは、「連続する企業誘致と教育環境への影響」についてお答えします。

まず、「教育施設の現状認識と企業進出を見据えた教育環境への影響の見通し」についてお答えします。

学校は、未来を担う児童生徒が豊かな学びと生きる力を培う重要な場であることから、守山市学校施設長寿命化計画に基づき、各学校のあり方を検討した上で、校舎の増改築、特別支援教室の確保など適切な学校施設の整備を行っており、大規模校においても一定の教育環境は確保できていると認識しております。

そうしたなか、守山南中学校においては、部活動に対応できるよう第二体育館を建設するなど、施設の充実を図っております。なお、プールについては、集約化を含めた小中学校プール施設のあり方についての検討を行い、教育環境の充実に向けた取り組みを進めてまいります。

今後の民間住宅の開発状況を見込んだ児童生徒数の推計では、全体的には減少傾向を予測しており、河西小学校においては、民間開発、地区計画による戸建て住宅の建築数を鑑みましても、現時点では、ゆるやかな減少傾向を予測しております。引き続き、企業誘致が進むことによる民間の開発動向も注視し、児童生徒数の推移状況を把握するなか、適正な教育環境の確保に向けて取り組んでまいります。

答 弁 書

個人質問（一問一答） 質問者 小牧 一美 議員

答弁者 市長

3 連続する企業誘致と教育環境への影響について

質問概要

- ② 過大規模校解消に向けた学区の再編や学校分離の検討
-

答弁内容

次に、「過大規模校解消に向けた学区の再編や学校分離の検討」について、お答えします。

ご質問の3校の児童生徒数につきましては、守山小学校では、平成29年度をピークに減少しており、守山南中学校も、今年度をピークに、今後、減少に転じると予測しております。また、河西小学校は、令和3年度をピークに減少しており、先程答弁いたしましたとおり、現時点では、今後、ゆるやかな減少傾向に転じると予測しております。

このため、学区の再編や学校分離については、現段階では、検討しておりません。

答 弁 書

個人質問（一問一答） 質問者 小牧 一美 議員

答弁者 教育長

4 校則のあり方と見直しについて

質問概要

(1) 各学校での校則の見直しの現状と課題について

ご質問の「校則のあり方と見直しについて」お答えします。

現状としましては、学校や地域の状況、社会の変化等を踏まえ、近年では、中学校において標準服を「スカート」と「スラックス」から選択できるように校則改正したほか、小学校の学校生活のルールにおいても、性別に関係なく帽子の選択を進めるなど、適宜、見直しを行っているところです。また、各学校では、学校生活における児童生徒アンケートを実施したり、児童会・生徒会活動や学級活動の中で意見箱を設置する等、児童生徒の意見を集約する機会をつくっています。中学校では生徒会役員選挙があり、立候補者は校則改正を公約にかかげることも多く、全校生徒は、その生徒会役員の公約を確認して投票するという形で意見表明もできます。また、小学校では学級活動での話し合い活動に力を入れており、自らの意見を表明する機会を多く取り入れているところです。

校則を見直すにあたっては、児童生徒、保護者、教職員の様々な意見を集約し、その話し合いの過程でお互いの意見の違いを知ることや、丁寧に話し合うことを大切にして、合意形成をしております。

「子どもの権利条約」や「こども基本法」にありますように、子どもが自分の思いを伝え、意見を表明する権利を保障することが大切です。引き続き、話し合い活動等に力を入れる中、校則については、児童生徒の思いが反映されるより良いものとなるように、各学校に応じた方法で適宜、見直しを図ってまいります。

答 弁 書

個人質問（分割） 質問者 藤原 浩美 議員

答弁者 教育長

2 小中学校のトイレに生理用品を常備することについて

質問概要

○トイレや利用しやすい場所に生理用品を常備することが必要ではないか。

答弁内容

「小中学校のトイレに生理用品を常備することについて」お答えします。

市内小中学校では、生理用品を持っていなかったり忘れてきた児童生徒に対しては、原則保健室において生理用品を提供しております。その機会に、養護教諭が児童生徒とコミュニケーションを図ることで、体調不良や心身の変化を把握し、必要な場合に医療機関につなぐとともに、万が一家庭の事情で生理用品を準備できない場合は家庭とも連絡を取り合い、状況に合わせた対応をしております。

仮にトイレに生理用品を置いた場合、困窮家庭の児童生徒や生理で困っている児童生徒に対して、大人が気づきにくくなるという恐れがでてまいりますので、これまでどおり、生理用品について保健室に常備しておき、児童生徒の状況把握に努めてまいりたいと考えております。

また、児童生徒が自分の身体と心の変化に気づき、考えて行動し、自分一人で悩みを抱え込まずに、自分から助けを求めることができるようになることが、生きる力につながっていくと考えております。

そのためにも、養護教諭や担任等が児童生徒に寄り添い、不安や悩みを相談しやすい環境を整え、助けを求めることの大切さを継続して教えていくとともに、常に児童生徒が相談しやすい雰囲気づくりに努め、安心して学校生活を送ることができるように取り組んでまいります。

答 弁 書

個人質問（総括） 質問者 田中 尚仁 議員

答弁者 教育部長

伊勢遺跡史跡公園の活用について

質問概要

(1) 史跡公園の活用の今後の展望について

- ① 広報などによるPRや各種イベントなどの仕掛けについて
- ② 各種団体との連携に関する今後の展望について
- ③ 教育での更なる活用の促進について

答弁内容

ご質問の「伊勢遺跡史跡公園の活用」についてお答えします。

伊勢遺跡史跡公園の整備にあたり、議員の皆様方をはじめ、多くの方々のご支援を賜りましたことに感謝を申し上げます。おかげさまをもちまして、去る11月12日に無事開園を迎えることができました。

これを機に、伊勢遺跡の保存継承を推進するとともに、歴史学習の拠点および市民の憩いの場を提供するため、史跡公園を積極的かつ効果的に公開活用し、末永く市民に愛される施設づくりに取り組んでまいります。

それでは、1点目の「広報などによるPRや各種イベントなどの仕掛け」についてお答えします。

伊勢遺跡史跡公園では、古代の舟をイメージした大きな屋根を持つ遺構展示施設において、ガラス張りの床下における遺構レプリカ展示や大屋根の内側をスクリーンに見立てた映像展示などを行うことで、来館者に遺跡の価値や魅力

をわかりやすく伝え、その理解を促進することを目的としています。伊勢遺跡の認知度を向上させるとともに史跡公園の利用促進を図るためには、遺跡が持つ本質的価値はもとより、こうした特徴的な施設や展示空間の効果的なPRが有効であると考えており、施設の設計者である建築家の平田晃久氏を招いた講演会を今年度中に開催することを検討しています。

また、現在、守山市観光物産協会と協力して実施しているデジタルスタンプラリー「もりやまルート旅」では、伊勢遺跡史跡公園をはじめとする市内の文化財や自然、景観、観光資源などを繋ぎ、周遊観光を促進することにより、歴史や文化財への関心が低い層にも伊勢遺跡を知っていただき、来訪へとつなげる取組を行っております。

情報発信にあたっては、今年度制作した市内文化財プロモーションビデオをYouTubeなどのSNSで積極的に公開するとともに、市庁舎や図書館などの公共施設でも効果的に放映し、幅広い世代に史跡の周知を図ってまいります。

次に、2点目の「各種団体との連携に関する今後の展望」についてお答えします。

伊勢遺跡では、議員仰せのとおり、伊勢遺跡保存会や守山商工会議所青年部をはじめとする多様な主体の皆様が様々な事業やイベントを通じて史跡を盛り上げてこられました。こうした地域や関係機関での取組を大切にする中、伊勢遺跡保存会の皆様には、あらたに史跡案内のコンシェルジュとして、ジオラマ展示を用いた遺跡紹介や施設案内、地域の魅力発信などを担っていただいております。これにより地域の歴史文化への理解を深め、郷土愛醸成につなげてまいります。

また、守山の魅力発信と地域活性化を図ることを目的として守山商工会議所青年部が開催されている「もりやま卑弥呼コンテスト」の会場として活用いただくなど、史跡公園の資源を最大限生かした活用を進めることで、地域づくりを推進してまいります。

次に、3点目の「教育での更なる活用の促進」についてお答えします。

史跡を次世代に継承していくためには、子どもたちが地域の歴史や文化を学び、郷土を愛する心を育むことが重要です。これまで、伊勢遺跡保存会の協力を得て物部小学校6年生を対象に実施してきた歴史学習を、職員による出前授業などを含め市内全小中学校に拡充し、実施するとともに、市外の学校園についても遺跡ツアーなどの実施を検討し、より多くの子どもたちに伊勢遺跡に触れていただくよう働きかけてまいります。

答 弁 書

個人質問（総括） 質問者 二上 勝友 議員

答弁者 教育部長

1 本市における GIGA スクール構想の実現に向けて

(1) クロームブックと高速通信ネットワークの整備状況と運用状況について

質問概要

○クロームブックと高速通信ネットワークの整備状況と運用状況は如何か。

答弁内容

ご質問の1点目「ハード面について、本市における一人一台端末と通信ネットワークの整備状況と現在の運用状況」についてお答えいたします。

本市におきましては、児童生徒が使用する学習用端末としてのクロームブックを、令和元年度に637台、令和2年度に8,325台を調達しました。令和3年度以降は随時不足分を調達し、現在の総台数は8,997台となっており、一人一台の端末を各学校で活用しています。

次に校内の通信環境につきましては、令和元年度に、児童生徒が使用する学習系と、教職員が使用する校務系との2系統としたところです。

令和2年度には通信環境の改善を図るため、校内のネットワーク機器の更新、高速通信に対応したLANケーブルの敷設を行うとともに、各教室に無線アクセスポイントの設置を行い、学習用端末の無線利用を可能としました。また、学習系専用回線として、従来の1G（ギガ）回線1本に加え、追加で1G（ギガ）の通信回線を各校に敷設いたしました。

現在の運用につきましては、一人一台端末の利活用を各学校で進めており、先生方の創意工夫により、よりよい授業づくりに活かしているところでございます。

そのような中、学習用端末の利用状況によっては、通信が不安定になる事象が増えてまいりました。このため、学校におきましては、通信に遅延が生じないように、同時に利用する時間や利用クラス数を調整して利用しているところです。

通信が不安定になる事象への対応として、今年度守山南中学校において、通信回線を1Gから10Gに切り替え、一斉利用時の負荷を調査したところです。

この結果、同時に利用できる人数が、1学年の半数程度から学年のほぼ全員となり、大幅に改善されました。しかし、若干名の遅延が発生したため、年内に対策を講じ、1学年全員が安定的に同時に利用できる環境を整える予定です。

なお、その他の12校につきましても、守山南中学校での改善状況を踏まえ、中学校においては1学年全体、小学校においては2学年全体で一斉利用ができることを整備目標とし、令和6年度に各校の実情に応じた対策に取り組んでまいりたいと考えております。

答 弁 書

個人質問（総括） 質問者 二上 勝友 議員

答弁者 教育長

1 本市における GIGA スクール構想の実現に向けて

(2) デジタル教科書およびその他のコンテンツの導入状況と運用状況について

質問概要

○デジタル教科書およびその他のコンテンツの導入状況と運用状況は如何か。

答弁内容

2点目の「デジタル教科書およびその他のコンテンツの導入状況と運用状況」についてお答えします。

本市は令和3年度から国の実証事業でデジタル教科書を一部導入しており、今年度につきましては、英語は全小中学校、算数・数学は7小中学校で導入しています。英語ではネイティブの音声を用いての発音やヒアリング練習、算数・数学では画面上で平面や立体の図形を動かして確認できるなど、紙の教科書ではできなかった様々な学習が可能となっています。

また、その他の学習コンテンツとしましては、個別学習機能を持つ AI ドリル「すらら」を導入しており、個人に合わせて問題の難易度を AI が判断し、出題することが可能です。本市では、学校の朝学習や家庭学習、授業後などに繰り返し活用し、復習テストにより学習の定着を図っています。

さらに、小学校には、多層指導モデル「MIM（ミム）」というコンテンツを導入しています。これは文字や語句を正しく読んだり、書いたりするための指導ソフトであり、低学年や学習につまずきのある児童の指導に役立てています。

授業支援機能としましては、Google の標準ソフトを活用しています。オンラインでのビデオ通話機能を用いて、在宅や別教室からでも教室の授業が視聴でき、課題に取り組

むことができます。また、タブレット上で意見を出し合い比較する機能もあり、教室の大型ディスプレイに映すことで学級で共有し活用を図っています。

答 弁 書

個人質問（総括） 質問者 二上 勝友 議員

答弁者 教育長

1 本市における GIGA スクール構想の実現に向けて

(3) 自主学習に有効なコンテンツの整備について

質問概要

○自学自習に有効な民間のコンテンツを市で購入し学校や家庭で利活用することが、不登校や別室の児童生徒も含めた全ての子ども達への効果的なサポートになると考えるが、如何か。

答弁内容

次に、3点目の「自主学習に有効なコンテンツの整備」についてお答えします。

自主学習に有効なコンテンツとして、本市ではAIドリルを採用しています。学校でも家庭でも、本人の学びたい内容を自分で選んでスモールステップで取り組むことができ、一人ひとりの習熟度に応じて学習を進めることができます。取組はすべて可視化されるので、教師が、児童生徒の頑張りを認めたり、つまずきに気付いて声かけをしたりすることで、学習意欲の向上にもつながると考えております。

また、学校を休んでいたなどの理由で授業が受けられなかった児童生徒には、NHK for School 等の無料動画コンテンツの活用を推奨しています。NHK for School は、Web 上の無料サイトであり、各教科・各学年における学習内容が、学習指導要領に則った形で、数多く作成されています。教師が授業で活用するだけでなく、各家庭でも児童生徒が容易にアクセスすることができます。

引き続き、効果的なドリル教材や動画コンテンツなどについての情報を収集し検証する中、児童生徒への適切なサポートとなるよう努めてまいります。

答 弁 書

個人質問（分割） 質問者 北野 裕也 議員

答弁者 教育長

2 フリースクールの拡大に関連する守山市の方針について

(1)教育委員会等による事前の指導・研修を受けた人のスピード感を持った拡充について

質問概要

○教育委員会等による事前の指導・研修を受けたボランティアスタッフなども想定して充実させ、不登校対策に取り組むのか。

ご質問の1点目、「教育委員会等による事前の指導・研修を受けた人のスピード感を持った拡充について」お答えします。

現在、すでに学校は、教職員のみにとどまらず、スクールガード、民生委員児童委員、学校支援ボランティア等、多くの方の力をお借りし、支援していただいているところであります。また、大学と連携を行い、教員志望の大学生をスクールサポーターとして受け入れ、学生の力も活用しながら児童生徒への対応の充実を図っているところでございます。さらに、今年度より一部学校で実施しております「地域学校協働活動事業」により、学校と地域の新たな連携のなかで、学校に行きづらい児童生徒への声かけや居場所づくりを行ってまいります。

このような取組により、地域社会全体が子どもの教育に関わることで、喫緊の課題である不登校児童生徒への支援を推進してまいります。

答 弁 書

個人質問（分割） 質問者 北野 裕也 議員

答弁者 教育長

2 フリースクールの拡大に関連する守山市の方針について

(2) フリースクール利用者への経済的支援体制構築の進捗について

質問概要

○フリースクール利用者への経済的支援体制の検討における進捗状況はどうか。

ご質問の2点目、「フリースクール利用者への経済的支援体制構築の進捗について」お答えします。

9月定例会議で教育部長が答弁したとおり、来年度から、フリースクール利用者への経済的支援を行うことを検討しているところです。詳細な制度設計については予算編成過程において検討し、3月定例会議において議会にご説明し、議論いただければと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

答 弁 書

個人質問（分割） 質問者 北野 裕也 議員

答弁者 市長

2 フリースクールの拡大に関連する守山市の方針について

(3) フリースクール事業者を増やしていく・連携していく方針について

質問概要

○現在足りていないフリースクール事業者をいかに増やしていくのか。連携等、方針としてどのように考えているか。

ご質問の3点目、フリースクール事業者を増やしていくこと等についてお答えします。

まず、フリースクール事業者の運営主体、運営方針、規模などは様々であり、まさに、「フリー」であるからこそ、そこに意義があるのであって、市が主体的にフリースクールの誘致したり、支援して増やしていく性質のものではないと認識しております。

他方、フリースクール等との連携は非常に重要であると考えており、現在においても、フリースクール等の民間施設と学校が懇談をもつほか、施設への出席状況の確認等により連携を図っているところであり、今後ともフリースクール等と適切に連携してまいります。

答 弁 書

個人質問（分割） 質問者 北野 裕也 議員

答弁者 教育長

3 学校給食における有機米の導入について

- ① 主食である米、パン、麺が守山産かどうかについて
- ② オーガニック栽培の地産地消品を増やしていくかについて

質問概要

- 学校給食において、守山産の米および小麦を使用しているのか。
 - 今後オーガニック栽培の地場産物を増やしていくつもりか
-

答弁内容

次に一点目の「主食である米、パン、麺が守山産かどうかについて」お答えします。

本市の学校給食においては、米飯には守山産米を、パン・麺には守山産小麦を含めた滋賀県産小麦を、いずれも 100 パーセント使用しております。

二点目の「オーガニック栽培の地産地消品を増やしていくかについて」お答えします。

地場産物の使用につきましては、守山産・県内産という限られた区域での栽培になるため、天候不順による影響を受けやすいこと、品目や収穫量が限られること、価格が割高になること等の課題がございます。

そうした中、現在、学校給食においては、農薬等の使用量を半分以下とする「守山産環境こだわり米」を使用しております。また、守山矢島かぶら、笠原しょうがをはじめとする伝統的な地場産食材を活用する等、地産地消を積極的に進めているところです。

オーガニック栽培の地場産物となりますと、さらに条件が限定され、安定供給が難しくなり、より価格が上昇することから、オーガニック栽培の地場産物の使用については、現時点では考えておりません。

学校給食においては、まずは地産地消率を一層高めつつ、安定的に提供することに努めてまいります。

以上、答弁いたします。

寄付採納一覧について

令和5年12月21日現在

| NO | 月 | 寄付者 | 寄付物件 | 数量 | 評価額 | 合計評価額 | 寄付先 | ※ 1 | ※ 2 | ※ 3 |
|----|----|------------------------------------|---------------------------------|----------------|--------------------------------|---|-----------------|--------|--------|--------|
| 1 | 2月 | 認定こども園守山幼稚園 PTA小鳩会 会長 中村彩子 | なわとびポール ベンチテーブルセット | 2セット 1セット | 90,000円 39,000円 | 180,000円 39,000円 計219,000円 | 認定こども園 守山幼稚園 | | | |
| 2 | 3月 | 株式会社マイネット 代表取締役社長 岩城 農 | ノート (B5) | 987冊 | 500円 | 493,500円 | 市内9小学校 | | | |
| 3 | 4月 | 株式会社 京都銀行 | トイレットペーパー | 3,900巻 | 190,905円 | 190,905円 | 全小中学校 | | | |
| 4 | 4月 | 守山北中学校 令和4年度卒業生・保護者 代表 小嶋 祐子 | ワンタッチテント大 ワンタッチテント小 鋳物おもり | 1台 1台 4台 | 187,000円 55,000円 11,000円 | 187,000円 55,000円 44,000円 計286,000円 | 守山北中学校 | | | |
| 5 | 4月 | コカ・コーラボトラーズ ジャパン株式会社 | バスケットボール | 8球 | 20,000円 | 160,000円 | 全中学校 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|--|----------------------------|--------|----------|----------|----------------|--------------|---------|--|
| 6 | 7月 | 近江守山ライオンズクラブ | 大人用ライフジャケット 子供用ライフジャケット | 各100着 | 600,000円 | 600,000円 | 社会教育・ 文化振興課 | | | |
| 7 | 8月 | 相原 道廣 | 防球ネット | 1式 | 537,900円 | 537,900円 | 守山南中学校 | R5 ○ ※ | | |
| 8 | 9月 | 有限会社 宮本 代表取締役 宮本 敏明 | かんたんテント | 1帳 | 100,000円 | 100,000円 | 明富中学校 | | | |
| 9 | 10月 | 玉津小学校創立 150 周年 記念事業実行委員会 委員長 石田 俊治 | カヤック収納用倉庫 | 1棟 | 528,000円 | 528,000円 | 玉津小学校 | | | |
| 10 | 10月 | 滋賀県民共済生活協同組合 代表理事 水野 裕久 | 絵本・児童書 | 131冊 | 299,818円 | 299,818円 | 図書館 | | | |
| 11 | 11月 | 株式会社 京都銀行 | トイレトペーパー | 4,000巻 | 195,800円 | 195,800円 | 全小中学校 | | R5 ○ | |
| 12 | 11月 | 立入が丘小学校 P T A 会長 藤田 奈穂子 | ターザンロープ安全柵 | 1式 | 811,800円 | 811,800円 | 立入が丘 小学校 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|---------------------------|---------------------|----|----------|----------|-------|--|--|--|
| 13 | 11月 | 有限会社 宮本 代表取締役 宮本 敏明 | フォールディングテーブル 幕板付 | 2台 | 100,000円 | 100,000円 | 速野小学校 | | | |
|----|-----|---------------------------|---------------------|----|----------|----------|-------|--|--|--|

※令和4年12月に寄付いただいたグランドピアノおよび防球ネット（4,735,500円相当）と合算し100万円以上となったため、守山市表彰条例第5条 社会功労に該当となる。なお、守山市表彰条例は守山市自治振興表彰内規より優先される。

○守山市表彰条例（※1）

| | | |
|-------------|---|---|
| 第5条 社会功労 | (6) 公益のため金品の寄付をした者 一般寄付、ふるさと応援寄付を問わず、 市に対する寄付であれば該当 | 個人100万円以上 団体200万円以上 (教育後援会からの寄付を除く) |
|-------------|---|---|

○守山市自治振興表彰内規（教育委員会）（※2）

| | | |
|-----|-------------------|---|
| 第2条 | (7) 公益のため金品を寄付した者 | 個人50万円以上、団体100万円以上 ※ただし、団体については、3年を限度に通算可。 |
|-----|-------------------|---|

○紺綬褒章等の授与基準について（※3）

| | |
|-------------------------------|--------------|
| 褒章条例第1条の規定により紺綬褒章を授与する場合の授与基準 | 寄付金額 500万円以上 |
|-------------------------------|--------------|

教育委員会関係行事等について

| 行事名 | 担当課 |
|--------------------------|--------|
| 第54回守山市青少年美術展覧会の開催結果について | 学校教育課 |
| 第13回下之郷遺跡まっりの開催結果について | 文化財保護課 |
| 令和5年度もりやま文化財講座の開催結果について | 文化財保護課 |
| 令和6年文化財消防総合訓練の実施について | 文化財保護課 |
| 令和5年度守山市教育研究発表大会の開催について | 教育研究所 |

第 54 回守山市青少年美術展覧会 報告

1 会 期 令和5年11月10日（金）～11月16日（木） 午前9時～午後4時30分

2 会 場 守山市民ホール

3 作品数 総合計（特別支援を含み、中学校美術部作品数を含まず）

| | 平面 | 立体 | 書写 | 特別支援 | 合 計 | 前年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|
| 保 育 園 | 52(51) | 31(30) | | | 83 | 81 |
| こども園 | 78(81) | 42(44) | | | 120 | 125 |
| 幼 稚 園 | 57(59) | 32(33) | | | 89 | 92 |
| 小 学 校 | 380(370) | 184(190) | 376(377) | 130(138) | 1,070 | 1,075 |
| 中 学 校 | 170(166) | 170(166) | 170(166) | 60(52) | 570 | 550 |
| 合 計 | 737(727) | 459(463) | 546(543) | 190(190) | 1,932 | 1,923 |

（ ）内は前回数

4 会期中の鑑賞者人数 7,343人（前年より1,234人増）

| 月日 | 曜日 | 入場者数 |
|-------|----|--------|
| 11/10 | 金 | 314人 |
| 11/11 | 土 | 2,461人 |
| 11/12 | 日 | 3,045人 |
| 11/13 | 月 | 445人 |
| 11/15 | 水 | 637人 |
| 11/16 | 木 | 441人 |
| 合 計 | | 7,343人 |

過去10年の鑑賞者人数

第44回 7,207人
 第45回 8,329人
 第46回 8,297人
 第47回 7,728人
 第48回 8,855人
 第49回 8,000人
 第50回 7,848人
 第51回 4,770人
 第52回 5,314人
 第53回 6,109人

*今年度より、保・幼・この優秀賞の配分を小中に準ずる割合に近づけるために、4・5歳児併せて平面8点、立体8点に変更した。

（令和4年度は、4歳児平面7点・立体7点、5歳児平面7点、立体7点）

*コロナ5類移行に伴い、換気と手指消毒の設置（任意）のみの感染対策で開催した。

*感想カードに代わり、来場者アンケートをQRコードで表示し、意見を集約した。

*賞状の印刷製本費の高騰により、賞状の厚さを薄くした。

5 会場当番が対応した内容 ※当番日誌より抜粋

・平面と聞いてきたが見当たらない。

⇒名簿を確認すると立体で出品されていた。

・就学前の立体作品が倒れやすくなっていた。

⇒倒れないように固定し、置き場所や向きを変えて壁にもたれさせた。

・小学校の立体作品が紙できており、倒れそうになっていた。

⇒土曜日だったが、その日のうちに該当校の先生に連絡し、対応していただいた。

- ・小ホールの白布がずれて、机が見えていた。
⇒布をひっぱり、セロテープで貼った。
- ・作品同士のラベルが貼り間違えられているとの声が保護者からあった。
⇒片方が特選に選ばれていたこともあり、ラベルの張り替えだけでなく、校内で出品されるときにさらに慎重な対応をしてほしいとお願いした。
- ・園児の名前の間違いがあったことが保護者からの連絡で分かった。
⇒園に連絡し、訂正してもらった。

6 第55回守山市青少年美術展覧会について

- (1) 会期 令和6年11月14日(木)～11月20日(水)
午前9時から午後4時30分まで(6日間)
＜火曜日(11月19日)は、市民ホール休館＞
令和6年11月11日(月) 平面・書写審査
令和6年11月13日(水) 立体審査と開催準備
令和6年11月21日(木) 午前 作品搬出・後始末・撤去
- (2) 会場 守山市民ホール(展示室、ギャラリー、小ホール、学習室1)
- (3) 会場当番 輪番制により(保幼小園と小中学校の組み合わせ)
保幼小園・・・附属すみれ保育園から
学 校・・・速野小学校から
- (4) 事務局 輪番制により特別支援教育研究会(事務局長)
令和2年 令和3年 令和4年 令和5年 令和6年度
(幼児教育 ⇒ 図工・美術 ⇒ 書写 ⇒ 特別支援 ⇒ 幼児教育)

第13回下之郷遺跡まつりの開催結果について

文化財保護課

日 時 令和5年11月19日（日） 午前10時から午後2時30分まで

会 場 下之郷史跡公園（守山市下之郷一丁目12番8号）

来場者数 約1500人

- 実施内容
- (1) ステージ発表
 - ① 赤米づくり発表（吉身小6年）
 - ② 活動報告（下之郷遺跡キッズクラブ）
 - ③ 書道パフォーマンス（南中学校書道部）
 - ④ 吉身幼稚園5歳児の発表
 - ④ 若鮎こども園5歳児の発表 ・和太鼓の演奏（「楽」）
 - (2) メインコーナー 猪鍋（ふるまい）
 - (3) 体験コーナー ミサंगा、しおり作り、組ひも、小さなカゴ作り、竹細工、木の実細工、よし細工、魚釣り体験、火おこし体験、弓矢
 - (4) 紙芝居コーナー 滋賀県児童図書研究会：紙芝居の実演
 - (5) 見学コーナー 弥生土器を使った炊飯実験 県立陶芸の森
 - (6) 展示・案内コーナー 豊穰の郷：『目田レンジャー』目田川の取り組み
・市観光ボランティアガイド協会：パンフレット等の配布
 - (7) 食べ物（模擬店）・販売コーナー いもつぶし、赤米ポン菓子、赤米ご飯
古代米カレー、赤米がゆ、ふろふき大根、他
 - (8) 岡村道雄さんの案内による下之郷遺跡めぐり（現地ツアー）



ステージ発表（キッズクラブ）



紙芝居発表（児童図書研究会）



環濠で魚釣り（下之郷住民）



ミサंगा・組み紐等（弥生織り会）

令和5年度もりやま文化財講座の開催結果について

文化財保護課

1 開催趣旨

石の長者と呼ばれ、日本考古学の先駆者とも称される弄石家・木内石亭（1724～1808）の墓碑が本像寺（守山市今宿一丁目）に所在し、今年3月に滋賀県指定文化財に指定され、このたび保存修理が完了したことから、記念講演会ならびに現地見学会を開催しました。

2 開催日時

令和5年11月25日（土）午前10時から正午まで

3 開催場所

本像寺（今宿一丁目2-20）

4 開催内容

（1）記念講演

テーマ：石の長者・木内石亭の魅力にせまる

講師：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 課長補佐 井上 優 氏

（2）現地見学

案内人：楽浪文化財修理所 所長 高橋 明日香 氏

5 参加者数

23名

6 主催

守山市教育委員会



記念講演（右）と現地見学（左）の様子（今宿一丁目・本像寺）

令和6年文化財消防総合訓練の実施について

文化財保護課

1 目的

1月26日の「文化財防火デー」を中心に、火災やその他の災害から貴重な文化財を後世に残すため、消防機関と地域住民が一丸となり文化財に対する防火意識の高揚を図ることを目的に訓練を実施します。

2 日時

令和6年1月28日（日） 雨天決行 午前8時00分から午前9時00分

3 場所

赤野井町・大庄屋諏訪家屋敷および付近一帯 ※学区ごとに毎年持ち回り

4 実施機関

- (1) 守山市
- (2) 守山市教育委員会
- (3) 守山市消防団
- (4) 湖南広域消防局北消防署

5 参加協力団体

- (1) 赤野井自治会
- (2) 大庄屋諏訪家屋敷

6 訓練想定

落雷により敷地内で火災が発生し、折からの強風に煽られ延焼拡大し、屋敷に延焼する恐れがあるとの訓練想定で実施する。

7 過去の訓練写真



令和5年文化財消防総合訓練の様子(立入町・東福寺)

令和5年度 守山市教育研究発表大会開催要項

1. 目的 教育のさまざまな今日的課題を踏まえ、今年度に教育研究所が行ってきた教育研究の成果を発表するとともに、教育講演を企画し守山の教育について考える機会とする。
2. 主催 守山市教育研究所／守山市教育委員会
3. 日時 令和6年2月14日（水）午後2時から午後4時45分まで
（受付は午後1時30分から）
4. 会場 守山市民ホール 小ホール （守山市三宅町125番地 TEL 077-583-2532）
5. 対象 約200人
（1）市内保・幼・こども園・小・中・高等学校の教職員および保護者
（2）市内教育関係諸機関職員および市民など
6. 内容

| | |
|---|--------------------|
| （1）受付 | 午後1時30分から午後2時 |
| （2）開会行事 挨拶 | 午後2時から午後2時5分 |
| （3）中学生海外研修派遣団報告 立命館守山中／市立中学校（4校） | 午後2時5分から午後2時45分 |
| （4）全国学力・学習状況調査の考察 | 午後2時45分から午後2時55分 |
| （5）教育研究発表 指導力向上に関する研究 「子どもが話し合う、子どもが動き出す、とっておきの学級活動Ⅱ」 ークラスづくりは学級会からー | 午後2時55分から午後3時20分 |
| 休 憩 | |
| （6）教育講演会 講 師 たねやグループ CEO 山本 昌仁 様 演 題 「三方よしの精神で、積み重ね継承する」（仮題） | 午後3時30分から午後4時40分まで |
| （7）閉会行事 挨拶 | 午後4時40分から午後4時45分まで |

7. 講師について

たねやグループ
CEO 山本 昌仁（やまもと まさひと） 様

<プロフィール>

昭和44年滋賀県生まれ。19歳より10年間和菓子修行を重ねる。全国菓子大博覧会にて「名誉総裁工芸文化賞」を最年少受賞（24歳）平成14年洋菓子のクラブハリエ社長。23年たねや4代目を継承。25年より現職。著書に『近江商人の哲学「たねや」に学ぶ商いの基本』（講談社現代新書）

教育委員会の日程等について

1 教育委員会関係の今後の行事

| 月 | 日 | 曜 | 時間 | 場 所 | 行 事 名 | 備考 |
|----|----|-----|-------|----------------------|--|------|
| 12 | 23 | 土 | 16:00 | 北公民館 | あわてんぼうのサンタがおうちにやってきたあ2023 | 開催案内 |
| 1 | 8 | 月・祝 | 8:30 | 市民運動公園 市民スポーツ広場 他 | 第54回MORIYAMA NEW YEAR駅伝大会 | 開催案内 |
| 1 | 8 | 月・祝 | 10:00 | 守山市民ホール 大ホール | 二十歳のつどい | 出席依頼 |
| 1 | 25 | 木 | 15:00 | 守山市役所 防災会議室 | 令和5年度 歴代教育委員会委員・教育長会議 | 出席依頼 |
| 2 | 14 | 水 | 14:00 | 守山市民ホール 小ホール | 守山市教育研究発表大会 | 開催案内 |
| 2 | 19 | 月 | 14:00 | 守山市役所 防災会議室 | 令和5年度守山市自治振興表彰式 令和5年度守山市学校教育表彰式 令和5年度守山市子ども善行表彰式 | 出席依頼 |
| 3 | 12 | 火 | | 市内中学校 | 令和5年度市内中学校卒業式 | 出席依頼 |
| 3 | 14 | 木 | | 市内幼稚園 | 令和5年度市内幼稚園卒園式 | 出席依頼 |
| 3 | 15 | 金 | | 市内小学校 | 令和5年度市内小学校卒業式 | 出席依頼 |

2 次回の教育委員会開催日程等

【令和6年第1回守山市教育委員会定例会（1月）】

- 開催日 **1月25日（木）**
- 開催時間 **午後1時30分から**
- 場 所 **守山市役所2階防災会議室**

※定例会終了後、歴代教育委員会委員・教育長会議を開催します。

【令和6年第2回守山市教育委員会定例会（2月）】

- 開催日 **2月20日（火）**
- 開催時間 **午後1時30分から**
- 場 所 **守山市役所2階防災会議室B**

【令和6年第3回守山市教育委員会定例会（3月）】

- 開催日 **3月21日（木）**
- 開催時間 **午後1時30分から**
- 場 所 **守山市役所2階防災会議室B**

3 その他